

令和6・7年度（vol.1 ぷらす）について

現在、千事研では令和2年度からの4年間の研究計画「『ちば夢プラン（vol.1）』～地域とともにある学校づくりと学校事務～」を、地域との協働の第一歩を踏み出す段階（理解や周知、学ぶこと）として研究活動を行っています。次の研究計画は「地域との協働に向けて歩き出す段階」について研究を行う予定です。しかし、この4年間は新型コロナウイルス感染症の拡大により、各学校における地域協働の取組は大きな影響を受けました。千事研においても、令和2年度の研究大会の中止や、各種行事の開催方法の変更などを余儀なくされました。

研究とは、①観察し②仮説を立て③実践を行い④論証付けることだと考えます。新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、改めて地域協働の取組が動き出しました。そこで、この2年間は、現在の状況を「①観察し」、「②仮説を立てる」ことに注力します。この2年間の研究計画「ちば夢プラン（vol.1）」に加えて（プラスして）研究するという思いから「ちば夢プラン（vol.1 ぷらす）」とします。そして6年間（4年ぷらす2年）の研究をまとめ、令和8年度からの研究計画につなげていきます。

研究年度		令和6・7年度	
研究テーマ		～地域とともにある学校づくりと学校事務～ 地域との協働への手立て立案（実践に向けた取組）	
研究大会内容		《令和6年度》 ちば夢プラン（vol.1 ぷらす）中間報告	《令和7年度》 ちば夢プラン（vol.1 ぷらす）総括 次期研究計画策定
研究の視点 及び 課題・内容	組織開発	学校事務機能の強化および事務組織の役割や実践方法について研究を推進する（令和6年度研究課題） ・千葉県としての地域協働の姿の探求 ・地域協働につながる共同実施の役割	
	人材育成	地域協働における事務職員の役割およびそのキャリア形成について研究を推進する（令和6年度研究課題） ・地域協働における事務職員の役割 ・事務組織におけるリーダーシップの在り方	